

おがら

(題字は前学長 山田守英氏)

第 47 号

昭和61年 3月25日

編集 旭川医科大学
 厚生補導委員会
 発行 旭川医科大学教務部学生課



(写真撮影 学生課 堅田 義昭)

旭川冬まつり

1986年卒業の皆さんへ……………黒田 一秀……………2	研究室紹介(実験実習機器センター)…田中 邦雄…9
八期生の諸君へ……………並木 正義……………3	スキー教室……………9
卒業にあたって……………中村 文裕……………4	課外活動物品の返却について……………9
北国と大学と試験と……………宮野 修……………4	学生団体一覧……………10
卒業にあたって……………高桑 欧美……………5	サークル紹介……………11
昭和60年度講演会一覧……………6	学生証の査証及び交付について……………20
1年のあゆみ……………7	窓 外……………市原 和夫……………20



1986年卒業の皆さんへ

学長 黒田 一 秀

わたしたちが幼な子であった時には、幼な子らしく語り、幼な子らしく感じ、また幼な子らしく考えていた。しかしおとなとなった今は、幼な子らしいことを捨ててしまった。

コリント人への第一の手紙 13:11

旭川医科大学第8回卒業の皆さん、おめでとう。ながい時間をかけ全課程を修了し証書を受け取る気持はどんなものか、今こそ実感していることと思う。

さて、もう大学生ではないので、これからは今までと違った別の風が皆さんに向かって吹く。まず医師国家試験をみんな受けるだろう。1人前の資格者として責任と権利を認められるための手続である。一つの大切な経験である。

先日担当の医学概論の試験に医師の診療上の義務という問題を出した。医師法全文のコピーを参考資料としてつけて出した。医師の義務にはいろいろあるが、診療記録の義務を挙げた答案が期待よりもずっと少なかったのに驚いた。まだ1年生で臨床に入っていないから、この答は当然かも知れない。大方は徳義上の義務について記載していたが、それはそれでの意義があったと思われた。

新卒業者は医師免許を獲得すると、卒前のいわば保護された状態から、個人々が法的責任者として、如何に不備な場合でも、現行の法の枠内で行動しないわけにはいかない。それがプロフェッショナルということの意味であると思う。医科や歯科の大学教育は職業と直接継がるといふ意味でプロフェッショナル教育であり、理工農系の大学はスペシャル専門教育を行い、人文社会系の大学は専門教育であると同時にゼネラルな教養教育的面があると言えるであろう。少くとも医学校の教育は職業指向が明確であるわけである。このことは個々の職業専門人として社会の規制に応じ社会の変化に即応するよう要求されることがことさら重要な立場にあると考えられる。医学者になって研究するとか臨床家になって診療することは、いまま自由な職業であると誤われている。しかし現代の状況はそんなに牧歌的ではなく、情報化時代なのであり時代感覚を要求されるようになったのである。

新卒業者は、いま注意をそこまで向けられないであろうが、この気構えは大切である。医師法に明文化されていることを、研修医を経て勤務医になった人でも忘れていたのではないと思われることがある。

15年前のわが国の医師数増員計画が昨年すでに達成され、医師過剰時代に入った、今後は量より質の時代であると云われる。現実には医師の都市集中・専門指向で、医師偏在は益々極端になってゆく。新卒業者はどんな将来展望を持っているのであろうか。

専門職業人として社会の変化に応ずる心構えをと述べたが、目先をきかして要領よく立ち回れというのではない。医を職業とする人達は何時の時代でも、病める人々の援け手となることで栄光を与えられてきたのである。しかし近頃の技術文明の社会では、誇張して云えば医者も人を奴隷にしたり傷害する側に回りかねないし、うっかりすると自分自身が奴隷化し抹消される虞さえある世の中である。いまのままでは油断できないのである。わたしたちは飽迄も、人々の苦しみにあずかり、世の病弊とたたかい、善意が保たれるために働き役立つことを根本において、職業人に徹しなければならないのである。

競争社会だというのが、新卒業者を求めているところは決して少くはない。いわゆる専門化傾向はますます進んでゆく、特定部門に深い経験を持つ人が重要視される。一方総合的な問題について見識のある人も求められる。それらの要請に答えられるのは普段の蓄積のある人以外にはない。単に気が利く風のことで役に立たないのである。だがそういう心構えを持っているとひとが知ってくれば、かならず用いられるであろう。大いに希望を持っていただきたい。

医の世界はどの部門を選んでも、人が一生をかけて勉強し、楽しみ、そしてますます深く広くなってゆくような世界である。今皆さんはその第2のゲートに立っている。自らを育てようとする若者はいくら壮大な理想をかけてもよいのだから履習要項の巻頭に書いた。課程を終えた今どうお考えであろうか。極微の世界の追求にも、宇宙大の探索にも、おとなの心をもって、世の未知に立ち向い、世の缺けたるを補う精神が、すべてに通ずる大志の根本なのである。卒業の祝の門に立ちおとなとなった今、私たちあらためて皆さんの健康と活躍をお祈りする。



八期生の諸君へ

並木正義

皆そろっての卒業おめでとう。君達の努力の結果である。国家試験の全員合格をめざしてさらに頑張ってほしい。約束を信じている。

卒業生の大部分が臨床の道を選んだが、医師としての修業の道はけわしく、厳しいものであることをまず覚悟してほしい。それは人命をあずかる知的専門職である以上当然である。患者の運命は最初に出会った医師によって決定するといってもよい。医師の勉強不足、未熟さ、身のほどを知らぬひとりよがりの間違った判断で患者が不幸な事態に陥るようなことは許されない。人の命は尊厳なものである。それだけに医師はたえず勉強し、一生学びつづけなければならない。これからは医師過剰となり、医師が選ばられる時代である。そうなればなおさら勉強しない医師は患者からも社会からも見捨てられるであろう。医師の勉強とは単に医学書を読むことを言っているのではない。患者および社会から信頼される医師になるための幅広い知識と教養を身につけ、豊かな人間性を養うための修練を意味している。医療において最も重要なのは、患者と医者との信頼関係である。深い医学的知識、すぐれた医療技術も確かに信頼する医師の一つの条件ではあるが、しかし、病人をほんとうに治せるかどうかは、終局的には医師の人間性にかかっている。豊かな人間性とは、端的にいえば、人間的な思いやりの心であろう。この先生ならなんでも打ち明けられそうだという、あたたかい包容的ムードが自然ににじみでているような人間像といつてもよいかもしれない。こういった医師としての人間像がつけられるには、ある程度先天的な要素もあるが、後天的に心がけることによって培われる部分も多い。そして、こうしたことは医学生のとときから心がけなければならないし、医学教育の過程において学生に認識させる必要があると思ひ、これまでやってきた。君達も私の講義やボリクリにおいて、それをある程度感じとってくれたと思う。しかし、私のいう意味がほんとうに理解できるのは医師になって実際にいろいろな患者に接するようになってからであろう。臨床にあるものは、なんといつても患者をよくみるのが第一である。患者こそ生きた教科書であり、多くのことを教えてくれる。ただ、患者から何を学びとり、いかなる発想を思いめぐらすかは医師自身の意欲、物事に対する考え方と姿勢による。その差はやがてあらわれてくる。よくみるという言葉の意味は深い。それは患者を心身両面から全体的（全人的）なものとしてみることをいう。治療においても

また同様である。つまり、それぞれに即した的確な全人的把握と、適切な全人的治療こそが臨床医学の基本的あり方といえる。臨床において対象とするのは、生きた、心をもった人間であることをけっして忘れてはならない。病気をみるのではなく病人をみるということ、また病気を治すのではなく病人を治すのだということを常に念頭において医療に当たってほしい。

少し具体的な話しをしておこう。ともかく医師という職業は忙しい。とくに修業中の医師は勉強することがいっぱいある。したがって早く自分に合った生活のリズムを工夫し、自分のライフスタイルを築くとよい。若いうちは5時間も眠れば十分である。またどんなことがあっても最少限1日1時間は医学に関するものを読んでほしい。たとえ医学新聞でも、製薬会社から送られてくる雑誌でもよいから目を通すようにしたいものだ。こんなことでもするとしないのではやがて差がでてくる。子どもにものを言うようで申し訳ないが、要するに本を読む習慣を身につけ、それを自分のライフスタイルにとり入れることが医師にとっては必要だと思う。

今ひとつ言いたいのは、車の運転にはくれぐれも気をつけてほしいということである。昨年10月、うちの教室員が交通事故で亡くなった。春に卒業し、国家試験にパスし、これからというときに一瞬にして若い生命を失った。あまりにもむごく、あまりにもいたましい出来事であった。なんのために苦勞して医者になったのかと遺体にしがみついて慟哭した両親の姿は見るにしのびなかった。私もこれほど心が痛んだことは最近にない。自分が事故にあつても不幸だし、人の命を助けるべき医者、人をあやめても問題は大きい。また、医師は人間の生命をあずかる以上、注意深く、慎重であり、判断や行動が正確でなければならない。したがって、たとえ軽いスピード違反でも、これを犯すようでは医師としての適性を問われても仕方がない。どうか車は十分気をつけてほしい。交通違反の問題に限らず、医師は自らの生活態度に厳しくなければならない。と同時に社会常識を持ってほしいと思う。医師と政治家には社会常識に欠けるものが意外と多い。社会常識とはなんであるかさえわからぬものもある。これではだめだ。この点も心してほしい。

最後までうるさいことを言うようだが、それだけ諸君達の前途を思い、将来を期待しているからである。

(第6学年学年担当 第三内科学講座 教授)

卒業にあたって



中村 文裕

卒業——やっと長い学生生活も終わり、医師として、スタートラインに立てる日も速くない所まで来れたことを嬉しく思います。今年は特に開学以来初めて、卒業試験に全員が合格するという快挙もあり、何よりの贈物を受けた気がします。ここに至るまでには、多くの諸先生にお世話になり、殊に担任として御迷惑をおかけした先生方に、厚くお礼申し上げます。

毎年繰り返す試験のなか、人からは落ちそうで落ちないのでトマホークなどと言われつつ、一時的な不時着などはあったものの、ようやく卒業にこぎつけました。しかし、かえって異和感する感じ、明日になったら嘘でしたなどと言っては来まいかと、あたりを見回しつつ書いています。

思えば一年の前期試験の教学で、華々しくもゼロ戦を飛ばしてしまっただけで、小学校から泣かされ続けた物覚えの悪い頭に鞭打って疾走して来ました。教養時代には一時的だと鼻をつまんでやり過ごし、基礎は学者に向く頭ではないと言いつつ、実習とレポートの嵐に悪戦苦闘し、臨床に入ると暗記量の多さに愕然としつつも、青息吐息でここまでたどりついた次第です。

おかげで元来怠け者の私も、短期記憶力は飛躍的に向上し、苦しんだ受験時代が嘘のよう、東大・京大なんのその、古典文法・英単語・年表などどうして覚えられなかったのか不思議なくらいです。

冗談はさておき、後輩の皆さんに少しは参考となるかもしれない事を書いてみようと思います。

我が大学は日本でも有数の厳しい医学部の一つであり、国家試験予備校などと陰口をたたかれる程ですが、その中で慢性的な精神的ストレスで、胃潰瘍にも神経症にもならず過ぎすためには、それなりの対策が必要です。スポーツによるフラストレーション解消法が一般的な様ですが、私は運動系クラブの全体主義的・唯我独尊の傾向に馴染めなかったので、これについては何も言えません。

私が勧めるのは、学外に自らの人生観を養い育てるだけの世界を持つということです。学外のサークル活動などに積極的に参加することは、ただ単に視野狭窄に陥らないばかりでなく、人間として、医師としての目的意識を明確にしてゆく事になると思うからです。将来の医師としてのアイデンティティを確立する上で、医学教育は示唆を与えるに止まり、学内にこうした場を求める事に私は甚だ悲観的です。というのは、刺激の少ない単科大

学、北海道的精神風土、最北に位置する事ゆえの情報の不利、文化系クラブ活動の不振に代表される現在の事なかれ主義的学生気質などを考えた上でのことです。

しかし、こうした閉鎖的状況も、逆に言うると現在のよ様な情報過多の世界にあって、一つの事を腰を落ちつけて考えてみるには良い精神的環境でもあるわけで、その人次第と言えるかもしれません。

「私はベートーヴェンを聞く医者より、演歌を聞く腕の良い医者の方を信用する。」と、ある先生のおっしゃっていたのを、私は今でも時々思い出します。確かに今の社会はこれをまず要求している様に思われます。そして、この大学はこれに忠実に答えようとしているのではないのでしょうか。しかし、その当然の帰結であるとも言える技術偏重的詰め込み教育を受けた私たちに、どのような人間性を求められるのでしょうか。個人の問題かもしれませんが、私には医師=人間機械的イメージが大きく育ってしまった部分があるようです。

また、ある留年を重ねた友人は、この大学で教えられたのは、要するに弱肉強食という事だと語ったことがあります。しかし、この事は多くの学生が毎年進級のために費す精神的労力の多さから感じている実感でもあります。こうした学生がやがては医師となり、患者の前に立つわけです。末だ甘い私には、霊の医師なるイエス・キリストの、「わたしは憐みを好むが、いけにえを好まない。」という言葉が新鮮に聞えてくるのですが……。

日一日と、日照時間も長くなり、旭川にも春の気配を感じさせる今、漸く長い序章の終わった気がします。

(第6学年学生)

北国と大学と試験と

宮野 修



北国

何故、山梨育ちの私が旭川という北の地に住むことになったのか考えてみると、それはまったく偶然に左右されてのことであったと言わざるをえない。8年前、友人のM君が「旭川医大を受験する。」と私に話をしなければ又は、映画「幸福の黄色いハンカチ」を見なかったら、たぶん私は、北海道に来ることはなかっただろう。映画には、たしか夏の北海道が描かれていたが、実際の北海道には冬も存在した。冬の寒さには、6年たっても慣れることはできないし、冬の間溶けることのない雪にもずいぶん苦しめられた。しかし、雪が溶けて春が来ると冬の寒さを知る者だけが、春の暖さがおかるとでもいうのだろうか、ほんとうにうれしい。北国の人々が「春を待つ」という気持ちがわかったような気がした。

大学

大学で何を学んだかと尋ねられたら、私はこう答えるだろう。講義をする教官の姿に学問に対する情熱を学び、患者をはげます内科医の姿に医療を学び、「患者の為なら私は虚もつきます。」と言い切る外科医に医師のあり方を学んだ。医科大学が医師国家試験に合格する為にあるのなら、大学は予備校となればよい。それが一番合理的である。しかし私は予備校では決して学べないことを旭川医大で学んだと思っている。だから私にとって旭川医大は予備校ではなかったし、これからもそうでありつけて欲しいと思う。

試験

大学生活を語る時、試験の話をしなれば片手落ちになってしまうだろう。正直に言って、試験は苦しかった。大学入学前は、試験勉強というものはしたことがなかった。それでもなんとなくになっていた。周りの人間もそんなに勉強していなかった（ように私には見えた）。けれど、大学に入ってみると様子が一変した。各学年末の試験には進級がかかっており、落ちれば留年ということになってしまう。それより何より、試験が近づくとき学生の雰囲気は、勉強せざる者を、不安神経症に陥らせるに充分のものがある。「この大学で行われているのは、教育ではなくて、脅迫だ。」などと言っても何の救いにもならない。私自身、泣きたくなったことが何度かあった。「他人の苦しみを一部なりと背負ってあげよう。」などと考えて医学部に入ったのに、自分の苦しみを背負いきれずにいる自分が、腹立たしくもあり、悲しくもあった。

今、すべての進級試験を終えて反省しながら思うことは、誰だって1年の月日を失いたくないし、友達と別れたくないのだから、留年しないようにするのは当然である。また、医師、医学生にとって勉強することは義務であり、これをしないことは、国民に対する裏切りであろう。しかし、だからと言って、その為の心のゆりのようなものまで失ってはいけないということである。苦しいのは自分だけだと思ったり、その為の対人に対する思いやりの気持ちをなくしたり、目的の為なら手段は選ばないなどと考えるのは誤りである。

試験の為だけに行った勉強ではあったが、その中で私は何度か、真理にふれるよるこびどというようなものを感じた。明日試験がなければ、この問題についてもっと深く勉強したいと思った。実際は試験が終わると遊びに行ってしまったわけだが、そのような経験をもったことは喜ばしいことだと思っている。留年なかりせば、試験もまた楽しなどと、今だから思ったりもする。留年がなければ学生は勉強しないじゃないかという声がどこからか聞こえて来そうではあるが、いずれにしても、何の苦労もなく18年間生きて来た私にとって、旭川医大での試験は、プラスの意味でも、マイナスの意味でもよい経験であった。

そして

北国と大学と試験と多くの友人たちとすごした6年間が、もうすぐ終わろうとしている。宿泊研修、学祭、実習、試験、楽しかったことも苦しかったこともすべて思い出となってしまおうだろう。私たち8期生と旭川医大の発展を祈って卒業の記念としたい。

(第6学年学生)

卒業にあたって

高桑 欧美



けだるいほどまぶしい春の光の中で、半分眠っているようなんびりとした時間の流れのなかに、いつまでも身を置いていられると思ったのが、1年生の時の私でした。それほど、「これからの6年間

は、長く長く感じられたものです。

それが、いつのまにか、先輩と呼ばれるようになりました。クラブの下級生が試験などの折に、大変なんですと悲鳴をあげています。私が先輩にそうしてもらったように「私でも、なんとかなったんだもの。〇〇なら大丈夫」と励ましながら、去年までは「私なら、もう2度といやだわ。本当にかわいそうに」と、内心思っていたものです。それがこの頃は、なんだか懐かしいような、ほほえましいような気持ちで接しているのは、とうとう卒業を迎えたからでしょう。

春夏秋のバスケットボール、冬の試験週というくり返しも、これっきり、おしまいです。バスケットでは、幸いなことに優勝を経験できましたが、眼を閉じて浮かぶのは、練習の事ばかり。なかでも、ランニングです。

私たちは、1試合走りまわられる力をつけるために、週に1度、10kmを最高にランニングをしました。南高側に大きく回る。約4.5km分のコースがいまは、ひときわ懐しく思います。現在は舗装が進んでしまったけれど、まだじゃり道だった頃、それは、左右の田んぼや牧場にびったりマッチしていて、「じゃりが足の下で転がる分、損をしている気分だな」と、とりとめもなく考えていました。野球場の脇を出て、かなり急な上り下りがあり、小さな林のようになっているところを目標にぐるっと回り、工業高校前の道路にでて、戻ってきます。実習後に走る時、大きな夕陽が田んぼに映ったり、坂を上りきったところで眼前にパアッとひろがる光景は、本当に美しかったのですが、美しさに気がついたのは、後になってふり返ってなのかもしれません。

走っている最中は、わき腹が痛くなったり足首が痛くなったり、苦しい事もありました。部内でタイムレースを行うとなれば、やはり下級生には遅れをとりたくないし、自分の楽なペースよりは少しでも速くと考えて走る、

この少しでも速く、というのが、意外にきびしいのです。3つ下の吉川（現キャプテン）に上り坂で抜かれた時には、「やられた」という思いの他に、頼もしさを感じたものです。

クラブ、実習、勉強会等を通じて、笑ったり、泣いたり、意見が合わずにくやしい思いをしたり、おちこんだり、数多くの方に励まされたりで、私の大学生活とは、人とのつながり、ということでした。自分がつらい時に相談できる人がいて、いま振り返ると「どうしてこんな事で悩んだのだろう」と思うような事なのに、真剣に話を聞いて一諸に考えてもらえたことが、本当に幸せだった

と思います。

旭医を離れる私には、卒業とは、このような先輩後輩達、先生方、友人、いつも一諸にあった大学周辺の風景との別離です。先日、学生食堂に行き、知らない顔がいやに増えてしまったことで、「ああ、卒業するんだな」と、あらためて感じました。これから年を経る毎に、大学内外ともに変わっていくのでしょうか。あのランニングコースは、ボールを追いかける仲間達は……。それでも私の胸には、いつまでもこの6年間のそのままの、忘れ得ぬ母校となるのだと思います。

（第6学年学生）

昭和60年度講演会一覧

昭和60年度本学で開催された講演会は次のとおりです。

開催日	演 題	演 者	担当講座等
4月12日 (金)	松果体による性機能の調節	米国テキサス大学 教授 ラッセル・J・ライター	解剖学第二講座
5月24日 (金)	筋萎縮性側索硬化症研究の最近の進歩	米国タフツ大学 教授 レスター・S・エーデルマン	病理学第一講座
5月30日 (木)	①米国におけるガン研究の現況 ②臨床研究計画のための人口知能の応用について	米国南カルフォルニア大学 教授 ジョン・M・ウェイナー	吉岡前副学長 公衆衛生学講座
7月4日 (木)	複雑心奇形の外科	東京慈恵会医科大学医学部 教授 新井達太	外科学第一講座
10月1日 (火)	T-T細胞間相互作用による新しい腫瘍免疫療法の開発とその分子機構	大阪大学医学部附属癌研究施設 教授 濱岡利之	病理学第二講座 泌尿器科学講座
10月9日 (水)	Pancreatic regulation of blood glucose homeostasis (血糖恒常性の膵(内分泌性)調節について)	英国サリー州立大学 助教授 ロジャー・J・ハウランド	生理学第一講座
10月11日 (金)	暑熱環境と体温調節	長崎大学熱帯医学研究所 教授 小坂光男	生理学第一講座
10月24日 (木)	脳の神経回路とそのダイナミクス	滋賀医科大学医学部 教授 前田敏博	生理学第二講座 実験実習機器センター
11月11日 (月)	薬物依存について	秋田大学医学部 教授 中井健五	薬理学講座
2月18日 (火)	癌遺伝子の発見から臨床応用まで	北海道大学医学部附属癌研究施設 教授 葛巻 暹	病理学第二講座
2月26日 (水)	救急医療とそれに関連した集中治療	福島県立医科大学医学部 教授 奥秋 晟	麻酔学講座
2月27日 (木)	リハビリテーションの理念	国立身体障害者リハビリテーションセンター 更生訓練所長 初山泰弘	整形外科科学講座

(庶務課)

1年のあゆみ



第13回入学式

昭和60年

4月

- 1日 星野元教授に本学名誉教授の称号が授与された。
- 5日 昭和60年度入学式 (於 体育館)
(新生 120名 (内女子学生27名))
- 15日 新入生研修 第1回目 (於 第2～第4 セミナ)
- 16日 一室、和室)



新入生研修 (第1回目)

5月

- 15日 第79回医師国家試験合格者発表
(本学合格者 109名 合格率95.6%)

6月

- 13日 第11回医大祭
- 16日 テーマ がんばれ、まっかなトマト
—温床からとび出せ!

(医大祭実行委員会委員長 浅岡隆浩)



第11回医大祭

7月

- 1日 学長に黒田現学長が再任された。
教育研究及び厚生補導担当副学長に石橋教授(法医学講座)、医療担当副学長に鯉島教授(外科学第一講座)が発令された。
附属図書館長事務取扱に石橋副学長が発令された。
- 13日 第32回北海道地区大学体育大会
- 15日 (当番校 北海道教育大学函館分校)
〔本学参加種目〕 陸上競技(男女)・準硬式野球・軟式庭球(男)・バスケットボール(男女)・バレーボール(男)・サッカー・卓球(男女)・バドミントン(男)・剣道(男女)・弓道(男女)
(本学参加学生数) 170名
(成績) 男子30大学中15位、女子32大学中8位
- 22日 第28回東日本医科学生総合体育大会夏季大会

8月6日 (主管校 自治医科大学)

〔本学参加種目〕 陸上競技・準硬式野球・硬式庭球(男女)・軟式庭球(男)・卓球(男女)・バレーボール(男)・バドミントン(男女)・サッカー・バスケットボール(男女)・柔道・剣道・弓道・空手道・水泳(男女)・ゴルフ(本学参加学生数) 377名(成績) 35大学中9位

8月

- 1日 附属図書館長に牧野教授(検査部)が発令された。
- 8日 昭和60年度納骨式 (於 本学納骨堂)
- 18日 第28回東日本医科学生総合体育大会冬季大会61年 (主管校 旭川医科大学)
- 3月22日(本学参加種目) ラグビー・スキー(本学参加学生数) 107名



東医体冬季大会、開会式

9月

- 4日 体育大会 (学年対抗) サッカー・バスケットボール・オもう・つなひき・駅伝・2,000mリレー
- 8日 (有志対抗) バレーボール・ソフトボール(雨天の為中止) 主催 学生
- 25日 昭和60年度解剖体慰霊式並びに文部大臣感謝状伝達式 (於 体育館・第2セミナー室)
- 30日 学位記授与式 (於 副学長室)(学位記授与者 4名)

10月

- 28日 新入生研修 第2回目 (於 和室・職員研修施設)
- 11月1日 設)

11月

12月

- 16日 スキー教室 (於 北大雪スキー場)
- 17日 講師4名 厚生補導委員会委員1名 参加学生27名



スキー教室

- 25日 学位記授与式 (於 学長室)(学位記授与者 4名)

昭和61年

1月

- 20日 スポーツ大会 バレーボール・雪中サッカー
- 24日 主催 学生
- 25日 昭和61年度大学入学者選抜共通第1次学力試験
- 26日 (本学会場 541名)

2月

3月

- 4日 昭和61年度旭川医科大学入学試験
- 5日 (志願者 383名)
- 7日 昭和61年度旭川医科大学大学院入学試験(志願者 17名)
- 15日 昭和61年度旭川医科大学入学試験合格者発表(合格者 120名)
- 昭和61年度旭川医科大学大学院入学試験合格者発表(合格者 17名)
- 25日 第8回卒業証書授与式 (於 体育館)(卒業生 114名)
- 学位記授与式 (於 第一会議室)(学位記授与者 9名)

(庶務課・学生課)

研究室紹介

■ 実験実習機器センター ■ 田中 邦雄

本学の実験実習機器センターが設置されてから5年を経過しました。山田守英前学長の構想のもとで、学内共同利用施設として設置された中央研究部がその前身となっています。その当時確立された利用者負担制と、学内予算の共同利用機器への優先的配分という画期的な基本理念に支えられ、森 茂美初代センター長（生理学第二教授）のもとで学内の教育、実習、研究のための共同利用施設として整備、充実がなされました。とくに、学内・外の共同研究推進の場として各員研究室やカンファレンス室が設置された他、各種機器の充実も目覚しく、他大学からも大きな注目を集めております。昨年4月より小野一幸教授（解剖学第一）がセンター長に就任され、医学標本展示室の設置をはじめ、高圧型電子顕微鏡の導入準備など、センターの次の発展のために全力を注がれております。

機器センターでは、小野センター長以下総勢10名の職員が機器の整備、依頼試料の測定、研究への助言や機器操作の指導などの任に当たっております。研究者が必要とする時にいつでも各種機器が最良の状態で作動し、最高のデータが得られるように点検、整備をすることが第一の任務です。センターには電子顕微鏡、電子計算機、核磁気共鳴装置、細胞自動解析分離装置など超精密な大型機器をはじめ、研究に必要な種々の分野の機器類が設置されております。しかし、これらの機器がただ揃えられているだけでは何の意味もなく、毎日の点検、整備という機器の世話と、応用分野についての知識の積み重ねがあって初めて機器の性能を引出すことができ、信頼あるデータの獲得が可能となります。同時に測定または分析しようとする試料の作成、前処理をいかにするかが重要なポイントでもあります。したがって、機器を操作する側と研究者との間で、これから進めようとする研究の狙いや得ようとするデータへの予測などについて、相互に十分な打合せがなされることが最良の結果を得る早道と言えます。

機器センターのもう1つの重要な任務は、各種機器を通じて研究者間の交流を深めること、さらに共同研究推進の場としての潤滑油となることです。すでに一昨年より電子顕微鏡利用者懇談会が発足し、技術交流による成果も出始めております。今後このような多数の懇談会が生まれてくることが期待されます。センター職員はこれら重要任務に十分対応できるよう、日頃から努力、反省を続けております。学内共同研究の場として、一層の充実と発展のためにユーザの皆様のお支援助をお願い致します。センターへの苦情、不満、希望なども遠慮なくぶつけて頂き、より一層利用しやすい施設となるよう職員一同努力して行くつもりです。

(実験実習機器センター 助教授)

スキー教室

12月16日(月)～17日(火)に、紋別郡白滝村の北大雪スキー場において、第1学年から第5学年の学生27名(男子22名、女子5名)が参加し、スキー教室が行われた。

1日目はあいにくの強風のため途中までリフトが動かず一時代前の様に自力で山を登ったが、しだいに風も弱まり、4名の指導員のもと初級班(2班)、中級班、上級班に分れて、寒さの中基礎から指導を受けた。夜には懇親会が行われ、前回スキー教室の8輪を見た。2日目には好天気に恵まれ前日の分も合せ、思う存分に滑り込んでいた。

(学生課)



課外活動物品の返却について

学生諸君の一部に、課外活動物品の借用期限が過ぎても未だ返却しない者がおり、貸出業務に支障をきたしています。他の学生諸君の迷惑になるので、必ず借用期限内に返却すること。

また、借用物品は、次に借りる身になっていぬに取り扱い、汚損・破損のないよう注意すること。

(学生課)



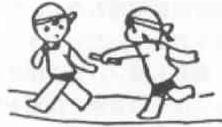
学 生 団 体 一 覧

本学には現在、体育系31・文化系28の学生団体があります。

昭和61年3月 現在

体育系団体名	会員数	責任者		顧問教官	文化系団体名	会員数	責任者		顧問教官
		学年	氏名				学年	氏名	
ラグビー部	34	5	北田 正博	岩田 光高	写真部	25	4	谷口 成美	原田 一典
準硬式野球部	28	4	高橋 正年	長 和彦	英会話クラブ	14	3	寺山 裕嗣	平野日出征
卓球部	39	4	栗栖 康滋	渡辺 信	医療研究会	37	4	松田 彰	中島 進
陸上競技部	17	4	野津 司	美甘 和哉	茶道部	19	4	笠井世津子	吉田 征子
スキー部	70	5	石原 敏道	東 匡伸	棧敷文の会	18	4	石井 昭広	岡田 雅勝
ゴルフ部	22	4	菅野 晴美	寺山 和幸	映画研究会	18	3	渡辺 晴司	建部 高明
ポディービルディング部	22	3	山口 聖隆	山下 幸紀	将棋部	14	4	興水 修一	上口勇次郎
硬式庭球部	45	4	山田 豊	米増 祐吉	J A Z Z 研究会	20	2	浅賀 浩孝	宮田 昌伸
バドミントン部	23	4	岩波 悦勝	山下 裕久	囲碁同好会	11	2	花岡 淳一	岡田 雅勝
バスケットボール部(男)	27	4	立花 康人	上田 則行	美術部	11	4	斎藤 裕司	小川 秀道
空手道部	12	4	吉田 晴恒	猪俣 光孝	ギター部	15	3	杉沢 孝久	原田 一典
柔道部	12	4	高橋 邦幸	平山 隆三	ロック研究会	26	3	伊達 純	土肥 聡明
サッカー部	27	3	中田 伸司	水戸 勉郎	障害者問題研究会	16	5	佐藤 利夫	笹森 秀雄
バレーボール部	29	4	宮本 憲行	吉岡 一	聖書研究会	4	2	大角 晃弘	谷井 広樹
剣道部	36	3	青木 裕之	森 茂美	C P U	6	6	坂本 淳	福山 裕三
山岳部	29	3	鳥家 良輔	八幡 剛浩	“悩む”会	18	5	佐伯 智幸	平塚 寿章
弓道部	24	4	夫戸 稔聡	黒島 辰汎	プラス・アンサンブル	23	2	小池 且弥	北 進一
ワンダーフォーゲル部	26	4	岡本幸一郎	笹森 秀雄	室内合奏団	18	3	生出 邦仁	北 進一
アーチェリー部	9	2	松山 剛	丸子 基夫	科学論研究会	6	5	佐藤 修二	中島 進
大東流合気武道クラブ	15	4	沢田 恒平	中島 進	女子学生のひろば	8	4	武井 理子	岩渕 次郎
軟式庭球部“アップルズ”	23	3	向後 利昭	宮岸 勉	V.R.A.(ビデオ研究会)	36	3	明 茂治	田中 達也
硬式テニス同好会	26	4	坪内 友	安藤 御史	フォーク研究会	5	3	鈴木 隆司	渡辺 信
水泳部	40	2	近藤 俊一	竹光 義治	アマチュア無線部	10	3	生出 邦仁	平野日出征
軟式野球同好会	9	2	上西 博	平野日出征	東洋思想研究会	13	3	外川誠一郎	原田 一典
白い変人(基礎スキー&山岳スキー同好会)	48	3	矢倉 幸久	丸子 基夫	旅と鉄道研究会	6	4	吉田 克成	笹森 秀雄
サイクリングクラブ「チャリンコの会」	21	3	鈴木 隆司	笹森 秀雄	天文同好会	19	3	矢萩 英一	相田 一郎
操艇部	15	4	田中 基幹	吉田 逸朗	旅芸人C L U B	12	5	名取 俊介	加地 隆
釣り同好会	16	4	岸本 隆史	岡田 雅勝	お祭り研究会	22	4	桜井 行一	指田 裕子
女子バスケットボール部	13	4	中谷 恭子	上田 則行					
ソフトボール同好会	32	4	岸 正朗	久津見晴彦					
マラソンクラブ	11	5	大河原知水	大野 秀樹					

サークル紹介



体育系

ラグビー部

RUGBY と、2つの「魔法の水」
目を開けた。(何だ、この金色のまるい物)(何だ、
のぞきこんでる、このオッサンは)(こっちは誰だっけ)
……(アッ、ヤカン、審判、キャプテン)

「俺、悩んどう？」

「名前は？」審判が聞く、「○× △。」

「今日、何日？」 「○月×日。」

審判は軽くうなづいて、笛をくわえた。

ノーサイドの笛を聞いた瞬間、足は動くことを拒否する。
(もう、一步も動きたくない) 思いは皆同じだ。
グラウンドを一步出て座りこむ。「一杯の水」。ふと気づく、
(今日の日射しは、こんなに柔らかかったんだ)。キャッチングのために、
ずっと太陽の位置を測っていたのに。(今日の風は、こんなに快かったんだ)。
キックのために、風向きにはずっと注意してたのに。

残った水を飲みほす。足は動くことを承諾した。(明日も練習だ！)
……疲労感充足感へと変わった。

(文責 福田 雅)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円	7月北海道ラグビー選手権Eブロック、8月東医体(4位)、10月会長杯ラグビーフットボール競技会(優勝)
遠征費自己負担	旭川ラグビー協会、北海道ラグビーフットボール協会加入

準硬式野球部

旭川の冬は長く厳しい。この時期、学生は験勉でつらい。机に向かっていると、何か足りない。アレ、アレ

が足りないのである。夏の太陽、手が届かないとわかっていながら飛び込むグラウンド、汚だらけのユニフォーム、練習後の水浴び。春になったら、新入生を迎えて、また野球ができるという事が、つらい冬を乗り切る心の支えとなっています。今年、野球部は6年生が6人も卒業し若いチームとなります。経験は問いません。新入生の皆さん、僕たちと共に野球をやりましょう！

野球部、やる時はやります。今年こそ！

(責任者 高橋正年)

経 費	活 動
会費 年額10,000円 遠征費自己負担 (年間約4回)	6月春季リーグ戦2部(2位)、7月地区体(3位)、8月東医体(2回戦)、9月秋季大会(1回戦) 北海道大学準硬式野球連盟加入



卓 球 部

卓球部は現在、男子25名、女子12名の計37名で活動しています。活動内容は、放課後の練習が中心で、冬季は週3日、夏季は週4日体育館で充実した練習をしています。年間5回ある主な大会での成績は常に上位と健闘していますが、もちろん卓球をしたことのない方でも練習に関する心配は全くありません。練習は各自の自主性、レベルに合わせることでできる内容ですし、初心者の方には先輩方が親切に指導して下さいます。そういった、先輩後輩の関係の良さも卓球部の特徴ではないでしょうか。楽しい卓球部にお誘い合わせの上おいで下さい。

(責任者 栗栖康滋)

経 費	活 動
会費 必要なつど徴収 (2,000円) 遠征費自己負担	5月春季学連(2部2位)、6月道医体(優勝)、8月東医体(ベスト8)、10月秋季学連(2部2位)、10月北医体(優勝)



陸上競技部

——春眠をおぼえず——

新入生の諸君、入学おめでとう。さて我が部は、昨年度の東医体準優勝という輝かしい成績をおさめ、全日本医歯薬獣医では、前日まで海水浴に明けくれていたにもかかわらず優勝してしまいました。さらには、道学生の種目別BEST10に述べ18人入りました。あまりの強さに東医体では、「旭医大陸上部だ」と言うだけで道をあけてくれます。君たちも勝利の美酒に酔いしれないか。練習は自分のやりたいことができるし、コンバの費用も安い。(新入生は無料) どうだ、こんないい部があるか、陸上歴の有無は問わない、さあ来なさい。

(文責 野津 司)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円 遠征費自己負担	6月中旬北海道学生選手権(入賞3人)、7/27、28東医体(2位)、8/4全日本医歯薬獣医(優勝)、旭川陸上競技協会、北海道学生陸上競技連合、日本陸上競技連盟加入



ボディビルディング部

ボディビル部、部員20名、体育館2階ボディビル場にて活動中。

諸先輩方のお話を伺うと、発足当時部員はわずか数名、しかも特定の練習場もなく、テラス、階段の下(現印刷場)を転々としていたという。

現在、器具も整い、体力作りの場として開放されており、我々にはその管理と指導が任されている。この発展の裏には諸先輩方の並ならぬ努力が窺われ、ともすれば現状に甘んじがちな我々には、これが一つの支えになっている。

我々の活動は毎日昼休みに行き、内容は体力向上を目的とした筋肉の鍛錬である。外見上の肉体的向上を目的としているわけではない。ということで、部員は殆ど他クラブとの掛け持ちであり、各々自分のペースでトレーニングを続けている。

最後に、部員各自のより一層の尽力と、これより入学入部される新入部員に期待し、これを我がボディビル部の紹介とする。

(文責 山口聖隆)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円	5月春季北海道学生パワーリフティング大会(2位)、11月秋季北海道学生パワーリフティング大会(2位)、12月新人戦、北海道学生パワーリフティング連盟加入

バドミントン部

羽球と書いてバドミントンと読みます。真っ白いウェアに身をつつみ、白いシャトルを追って蝶のようにコートに舞う…という優雅なスポーツではありますが、何故かテニスほどポピュラーではありません。我が部は現在部員20数名、小人数ではありますが、昨年の東医体では男子団体戦3位という輝かしい成績を取っています。もちろん地道な努力はつきものですが、練習も決して無理をすることなく、上級生の優しさとユーモアの中で下級生はスクスク(?)育っています。羽球に興味のある皆さん、是非いちど体育館までお出かけ下さい。

(文責 稲葉恵子)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円 遠征費自己負担	6月上旬春季道医体(1位) 7月中旬地区体(ベスト8) 7月下旬東医体(3位)



バスケットボール部(男)

やあ、こんにちは。僕、バスケット部の寺西です。みなさんうちの部に入りませんか？初めての人も心配しないで下さい。へっへっへっ私にまかせなさい。それにうちの部はソフトやバレーが強いのがとりえです。別に練習をさぼっているわけではないんですけど、ただみんな重くて、跳んだり走ったりできないんです。ちなみに僕はみんなから「テラブー」と呼ばれています。今年は東医体出場権獲得を目指し、週5日の休みも4日に減らし、夏までのがまんを合言葉にみんな一丸となって練習しています。他に地区体、インカレなどで道内を移動しますが、実は遠征を口実に露天風呂に入りに行っているのです。ほとんど車での旅ですが、先頭はキャプテンのセリカで、ピリは僕の50年型コロナです。5月には新潟ツアーを企画しています。どうですか楽しい部でしょう。誰か入ってくれませんか？それと僕、時々思うんですけど、豊とマネージャーは新しい方がいいなあ。へっへっへ。というわけで、新入生の入部を僕は心待ちしているんだなあ。

(責任者 立花康人)

経 費	活 動
会費 必要なつど徴収 (1回 1,000円) 遠征費自己負担	5/15・16北医体(7位)、7月地区体(2回戦)、8/1~5東医体(ベスト8)、6月・11月春・秋インカレ道予選(2回戦)、全国学生・北海道学生・旭川バスケットボール協会加入

空 手 道 部

空手道は「武道」です。礼儀を重んじ身体を鍛練する素晴らしい「道」なのです。部員数は13名と少数ですが、毎日の厳しい練習を積み重ね、輝かしい成績を残しています。新入生のみなさん、空手は危険な怖いスポーツだと思っはいませんか。そんなことはありません。空手は

「紳士のスポーツ」なのです。スポーツ化され「寸止め」というルールもありますが、空手の真髄は「防衛が最大の攻撃なり」なのです。部員もほとんどが初心者から始めました。強くなりたい人、少しでも空手に興味のある人は、是非武道場に見学に来て下さい!! (毎昼休み)

(責任者 吉田晴恒)

経 費	活 動
会費 月額 700円 遠征費自己負担	4月北海道空手道選手権旭川大会(個人戦優勝・準優勝)、6月全道学生空手道連盟個人戦(3回戦出場)、7月東医体(ベスト8)、10月全道学生空手道連盟新人戦 旭川地区・北海道・全日本空手道連盟、全道学生空手道連盟加入



サ ッ カ ー 部

世界のサッカー人口は数千万とも数億とも言われ、世界中の人々に最も親しまれたスポーツの1つとなっています。サッカーはボールを手を使わずに相手のゴールに入れるという極めて単純な発想から生まれたものですが、simpleなだけに奥の深いものです。創造力、判断力、予測力は他のスポーツに類をみないものがあります。ゴールを奪った時の感動！それが選手をフィールドに立たせる理由なのでしょう。サッカーに興味のある君、一度グラウンドに足を運んでみて下さい。楽しい練習風景がみられます。お待ちしております。

(文責 中田伸司)

経 費	活 動
会費 月額 2,000円 遠征費自己負担	5月北医体(優勝)、6月旭川学生リーグ(2位)、7月地区体、8月東医体、6~9月全道学生リーグ(1部4位)、10月北海道医歯学生サッカー大会(4位)、日本サッカー協会、全日本大学サッカー連盟加入



バレーボール部

バレー部は現在部員が約27名で、夏場は週4日、冬場は週3日の練習を行っています。部員は、縦にも横にも団結が強く和気あいの雰囲気です。この気の合った部員のなかから作りだされるコンビバレーは絶妙で、旭医のお家芸とされています。

昨年は、東医体・道医体で見事優勝という輝かしい成績を残し、また全道大学リーグでも3部を確保するなど大いに活躍した一年でした。今年は、各大会で主力として活躍してくれた6年生が抜けてしまいましたが、東医体での連続優勝を目標に、部員一同練習に励みたいと思っています。

ちなみに、部員のほとんどはバレー経験ゼロで入部してきますが、半年もすると一人前のプレーヤーになっていきます。大学で何かをやってみたい方、あり余るエネルギーをどこかに発散したい方、是非一度、バレー部の練習を見に来てみませんか？お待ちしております。

(文責 鈴木義隆)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円 遠征費自己負担	5月上旬春季リーグ3部(4位)、 5月下旬道医体(優勝)、7月中旬地区体(2回戦敗退)、7月下旬東医体(優勝)、10月中旬秋季リーグ3部(4位) 日本・旭川バレーボール協会、北海道バレーボール連盟加入

剣 道 部

皆さん、剣道を一昔前のスポーツと考えてはいませんか？とんでもない！あの森田健作氏も剣道＝青春＝絶賛している現代のスポーツです。部員も垢抜けた者が多く、また、剣道以外の行事も大好きです。例えば、球技大会のソフトボール部門には欠かさず参加、コンパも盛んで

人生を語り合い、時には他大学との合同コンパも…。

とにかく、東医体2年連続3位の栄冠を再び勝ちとるため、今、新しい力が必要なのです。(特に女子部員)

経験の有無を問わず、部員一同、君達新入生を待っています。まずは、武道場を覗いてみて下さい。

(文責 青木裕之)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円 他必要な徴収 遠征費自己負担	6月北海道学生剣道選手権大会(個人星3位全国大会出場)、7月上旬北海道地区医学部対抗剣道大会団体戦・新人戦(1位)、7月下旬東医体(3位)、7月下旬北海道医歯薬学生剣道大会(優勝)、10月秋季新人戦(個人澤村ブロック優勝) 旭川剣道連盟、北海道学生剣道連盟加入



山 岳 部

新緑の息吹きを感じる清流の沢歩きや、未だ残雪豊富な谷をながめ、木々の緑と春の陽がまばゆい尾根を登る。そんな心はずむ春の山々に私達と一緒に行きませんか。

私達は四季を通じて縦走、沢登り、岩登り、山スキー等、オールラウンドな山行を行っています。これから山を始めたい方、岩や雪山に思いを寄せている方、年齢、性別に関わりなく、私達は意欲のある仲間を求めています。集会は毎週水曜日に行っています。気軽に参加して下さい。

(文責 佐藤篤司)

経 費	活 動
会費 月額 200円 遠征費自己負担	5月新歎合宿(大雪)、7月夏山合宿(日高)、12月冬山合宿(大雪)、1月厳冬期山行(芦別岳)



弓 道 部

—学園小説「的は逃げない」—

私の名前はT。旭川医科大学の1年生。私は雪のない季節の木、日曜日を除く毎日、弓道でさわやかな青春の汗を流しているの。弓道部の練習は女の子の私でも楽についていけるし、天気の良い日はドライブや海水浴なんかに連れて行ってもらえるし、毎日がとっても楽しいわ。それに『唯一の走らなくていい運動部』だというのも、なかなかの魅力ね。弓道って暗いスポーツだって思われてるかもしれないけど、私はとっても元気のでるスポーツだと思うの。私の射った矢がふわふわと飛んで行って初めての的に当たった時の感激は一生忘れられないわ。思わず「あっぱー」とさけんでしまったもの。今思い出してみたら何だかとってもはずかしい…やだやだやだー。

とにかくこの一年、私はとっても楽しくすごせたわ。試合にもたくさん行ったし、男の人達は試合のついでにキャンプなんかもしたみたい。まあ弓道ってマイナーなスポーツだけどやってみるととても楽しいものよ、私だれにでもおすすめできるわ。早く春になって新人生や先輩達と弓をひきたいなー (主人公Tは架空の人物です)

(文責 藤原康博)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円 遠征費自己負担	7月下旬東医体、8月上旬全医体 (2位)、10月下旬北海道学生弓道争覇戦、11月上旬北海道学生弓道新人戦・女子戦 旭川弓道連盟・北海道学生弓道連盟加入

軟式庭球部 `アップルズ`

もしも君がこの紹介欄を本当に読みたいのなら、まず軟式テニスがどんなスポーツだとか、どんなルールだと

か、そういったくだらんことを知りたがるかもしれないけどさ、実をいうと僕はそんなことは書きたくないんだな。第一にそういったことは僕には退屈だし、第二に今どきテニスを見たこともないようなイカレた奴は我が愛する旭川医大に入ってくるわけがないんだ。だいたい部活紹介欄には自分らの部が世界最高だと書いているものばかりさ。ただ部の雰囲気だけいえば、テニス気遣いもいればカーキチもいる、おじさんもいれば女子大生もいる、真面目人間もいればパチンコ大好き人間もいるといった性格のルツボって感じさ。だから、しょっちゅうゴタゴタしているけど、それでも皆、面白おかしく真面目にやっているさ。初心者でも大いに歓迎するよ。どんなに下手でも大丈夫。僕らはその気になればうんと上手なお世辞もいえるんだ。例えば「ナイスサーブ!!」とかね。女の子は全然少ししかないんだけどさ、是非入ってきて欲しいんだな。軟式テニスをしなくても、髪をいじくったり、ただクスクス笑ったり、そんなことをしているだけでもいいんだ。それじゃ、よろしく頼むよ。

(責任者 向後利昭)

経 費	活 動
会費 必要なつど徴収 (1,000円) 遠征費自己負担	6月北医体(予選リーグ3位)、7月北海道地区大学体育大会(2回戦敗退)、8月東医体(予選リーグ3位) 旭川庭球連盟加入

白い恋人 (基礎スキー & 山岳スキー同好会)

ある晴れた春の1日。

テラスに出ると、雄大な大雪が我を招く。

「よし、今度の日曜日、スキーに行こう」

空は抜けるように碧く、山肌はまぶしいばかりに白銀に輝く。

白い恋人たちは、思い思いのシェパードを描く。

——躍動の夏

白い恋人たちは、雪渓に躍る。

下界の暑さを忘れ、心安らぐとき

ふと見ると、高山植物たちが、愛らしい笑顔で語りかける。

——秋

白い恋人たちは、新たなるシーズンへと思いを馳せる。そして、待ちに待った、白い恋人たちの冬降りたてのアスピリンスノーに酔いながら、グレンデ狹しと駆けまわる。

華麗で力強い白い恋人たちよ。

さらに美しく、さらにたくましく。

大自然の胸に抱かれて、

(責任者 矢倉幸久)

(責任者 中谷恭子)

経 費	活 動
会費 年額 2,000円 遠征費自己負担 1 回約25,000円	7/7 旭岳夏スキー、1/8~1/10富良野 スキー合宿、3/10~3/14ニセコスキ ー合宿、3/23~3/26北海道学生基礎 スキー選手権大会出場 北海道学生基礎スキー連盟加入

経 費	活 動
会費 必要なつど徴収 (500~1,000円) 遠征費自己負担	5月中旬北医体、7月中旬地区体、 8月上旬東医体、10月下旬インカレ 道予選

操 艇 部

新人生の皆さん、入学おめでとう。

我々操艇部は、海から遠い旭川にもかかわらず、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィンなどマリンスポーツを楽しむ者の集まりです。一見活動が困難であるように思われますが、実は本人のやる気次第では、他のクラブと同様に充実したクラブ活動が期待できます。しかも夏季中心となるので、かけもちも可能で、気軽に参加できます。さあ海の好きな君、我々と共に青春しようではないか。

(文責 田中基幹)

経 費	活 動
会費 必要なつど徴収 遠征費自己負担	カヌー国体予選、サーフィン全道大会旭川地区、ヨット傘島親善レース参加 合宿(イタンキ、留萌)



文化系

写 真 部

普段は全く個人の自主性にまかせて、活動を行っている写真部ですが、年に2回の写真展の時期になると、皆が写真を持って集まってきます。特に学祭の写真展に向けては、連日夜遅くまで、惑は夜を徹して写真の焼き付けが行われ、その意気込みは大変なものです。しかし、部内だけの交流だけではマンネリ化する為、他大学との交流や、道内の大学で構成される写真連盟への加盟等が検討されています。又、今年の2月には、クラブ旭川に各部員が紹介され、1人1人の写真が掲載されました。このような学外への進出は、クラブの活性化の為、或は技術向上を計る意味で、大いに期待できるものです。

昨年度は一年生が大勢入部し、これからは何でもできる可能性があります。是非その力を生かして、積極的な活動を続けて行きたいと思っています。

(文責 鈴木隆司)

経 費	活 動
会費 年 5,000~10,000円	6月医大祭写真展 11月秋の写真展

女子バスケットボール部

私たち女子バスケ部は、おとしの東医体では見事優勝という快挙を成し遂げましたが、去年は一回戦で敗退してしまったという大変おもしろいクラブです。

すばらしいコーチ、先輩のもとで、「筋肉の美」を求めて練習に励んでいます。今までスポーツをやっていた人でもOK!!マネージャーも募集しています。

さあーっ、あなたもバスケやってみない!?待ってます。

J A Z Z 研究会

我々ジャズ研はかなり長い歴史を持つクラブですが、今年は世代交代の年にあたり、新しいバンドに生まれ変わりました。したがって、ジャズ研が見事新局面を開いて躍進するか否かは、この1年にかかっています。ジャズは難解だとして敬遠されがちですが、それはジャズに対するスタンスのとり方次第で問題にはなりません。現に純粋なジャズファンは約1名しかいません。しかし一度ジャズ研に入った者は皆、創造的音のとりこになり、誰1人としてやめていこうとはしません。そしてジャンルを超えて、自由に音楽を享受し続けているのです。

(文責 浅賀浩孝)

経 費	活 動
会費 月額 500円	6/15~6/16医大祭ライブハウス出演、 7/7 旭川4 大学合同平和チャリティ フェスティバル出演



ギ タ 一 部

「あなたも今日からギタリスト」を合いことばに、15名の部員が、ギターで音楽しています。部員のほとんどが、入学してからギターを手にしたため、難かしいことはできませんが、合奏を中心にポプラーやクラシック等から、楽しく演奏しています。

今年も、例年通り、7月5日に文化会館小ホールで、定期演奏会を行います。今回は、アルトギター、リズムマシン、シンセサイザー等、新しい器材を加え、ちょっと変わったものになる予定です。(すぐ、カレンダーにマークして、忘れずに聴きにきて下さいね……作)

(責任者 杉沢孝久)

経 費	活 動
会費 月額1,300円 他演奏会等の際に 若干の自己負担	7月第3回定期演奏会 北海道学生ギター連盟加入



ロ ッ ク 研 究 会

去年の音楽界をふりかえってみると、何と云っても「バンドエイド」でしょうね。かつて社会のはみ出し者だったロックも今や市民権を得るところか、世界中の良心を代表するソディアになってしまった訳です。我々ロック研究会も7月にアフリカ難民救済と核兵器廃絶を求めるチャリティフェスを主催し時代を先取りしておりましたが、「ロックはもう毒が無くなった」とも言われます。いずれにせよロックはさらに進化しより多くの人々の心をとらえ続けていくでしょう。我々は常にその魅力を追い求め、こよなく音を楽しむ者の集まりです。

(責任者 伊達 純)

経 費	活 動
会費 月額 1,000円 他楽器運搬費、 コンサート企画 予算、楽器維持 費等負担	6月医大祭ライブハウス、7月4大 学平和チャリティーフェスティバル、 9月道看学祭後夜祭、10月旭川西武 10周年記念イベント「4U Volume4」、 フレッシュミュージシャンコンテス ト・スタジオフライト旭川予選、11 月ステージ9 お代は見えてのお帰りコ ンサート、12月クリスマス自主コン サート、4Uクリスマスパーティー ライブ、1月マチイ MOVE バンド 合戦出演、4U加入



障害者問題研究会

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。わたしたちの会は、障害者に様々な形で関わっていた学生が集まって、お互いの感じているところを出し合っ、障害者の問題を広く考えてゆこうというところから始まりました。点字の会に入っていた人、手話の会に入っていた人、重症身心障害者施設を訪問していた人もいました。

現在の会としての活動は、月一度の養護学校訪問です。日曜日にも実家が遠く帰れなかった寄宿舎の子どもたちと遊んだり、作業をしたり、夏にはキャンプに、冬はクリスマス会と、行事に参加したりもします。大学祭では自分たちの関心のあるテーマについて、施設を訪ねたり、資料を読んだりして、まとめて発表したり、あるいは、来学の子どもたちに障害者の差別問題を、わかり易い影絵の物語に変えて上演したりします。月一度訪問している養護学校の子どもたちも遊びに来て、手を引いて大学祭を見学します。会員の訪問している重症身心障害者施設の方を招待した年もあります。

今年、会の創設者の方たちが卒業され、会も転機にあります。新入生をまじえ、さらに会を発展させていこうと考えております。

(文責 土屋芳治)

経 費	活 動
会費 無 料 研究資料代等負担	月1回養護学校寄宿舎訪問 学祭時発表・養護学校生徒招待 旭川市福祉協議会

聖書研究会

—医者が必要とする者は……—

今から7年前に設立された聖書研究会は、永遠のベストセラーと呼ばれる聖書をより多くの学生と共に探究し聖書が主張している事は何であるのかについて学び取って行くことを目的としている。現在会員は3名、準会員が3名である。昨年5月よりマルコによる福音書の学び会を毎週行っている。聖書は旧約39巻新約27巻の計66巻から構成され、旧約は罪人である我々を罪の結果としての死から救って下さる方がイスラエルの子孫として現れることを宣言し、新約はそのことがイエス・キリストによって成就したことが書かれている書物である。長い年月を通し多種多様な人達を通して書かれた書物であるにもかかわらず全体には一本の糸が通っているようにその主張は終始一貫している。この非常にユニークな書物を皆さんが是非一読され、その深さに触れることを願う。冒頭の言葉はマルコによる福音書2章17節のものである。「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人

です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」私達は1人1人自分が今“丈夫な者”であるのか“病人”であるのか点検する必要があります。病いは人を“死”に導くからである。

(責任者 大角晃弘)

経 費	活 動
会費 無 料	週1回例会

プラス・アンサンブル

こんにちは。私達プラスアンサンブル部は、名が体を表わしてませんで、アンサンブルだけでなく、Swingをしたり、行進曲をしたり、吹奏楽のオリジナル曲をしたり……。だから、木管の方々も歓迎いたします。

本年度は、私達のクラブの創始者である先輩たちも卒業してしまい、若がえりの年であります。新入生の皆様の力で平均年齢を下げてください。お待ちしております。

(文責 小池且弥)

経 費	活 動
会費 必要なつど徴収 (1,000円)	7/11旭川地区4大学合同演奏会、 9/12旭川医大音楽の夕べ、3/21東医 体冬季スキー大会開会式



室内合奏団

私たち室内合奏団は、弦楽器を中心に時にはフルートをまじえ、音と心の和を楽しんでいます。年々活動が活発化し、昨年は病院演奏会を始めて聞き、又、バッハ生誕三百年を記念して、ブランデルブルク協奏曲の3番と5番にも取りくんでみました。去る3月に、部創設時の強力なメンバーに一挙に卒業され、特に、ビオラ、チェロに新入生が来てくれることを待ち望んでいます。弦楽器は難しいというのも実感ですが、私たちは全員大学に

入ってから楽器をもった者ばかりですので、どうぞ気が
ねなく入部して下さい。

(文責 小林潤子)

経 費	活 動
会費 1,500円 (レッスン代込み)	4月新入生歓迎コンパで演奏、6月 医大祭・病院で演奏、9月音楽の夕 べ、3月卒業式で演奏



天 文 同 好 会

初春、北海道の緑がさえわたる頃、クラブマン達は田
舎に遊ぶ。北国の寒さも緩み、夜も幾分過ごしやすくな
ったからだ。野に川に田圃に、クラブマン達の天文遊学
精神は生きる。そして夜には、優雅に可憐にちりばめら
れた星空に酔う。都会人が危険な酒を楽しむ同じ夜に、
クラブマン達は田舎で昔ながらの夜を楽しむ。なぜなら、
星は遥かにしえの時より同様に、男達の上に輝いてい
るのを知ってるからだ。でなければ我々が少しばかり感
傷的になったにすぎない。こんな天文遊学を楽しむこと
が、クラブマン達の真骨頂である。

(責任者 矢萩英一)

経 費	活 動
会費 無 料 観測合宿約 7,000円	5/28~5/30吹上温泉白銀荘にて観測 合宿、11月ハレーすい星観測



旅 芸 人 ク ラ ブ

ただよう雲のように、遠くへ行きたくなることはありませんか？
流れる川に身をまかせて、海に行きたいと思いませんか？
街中で突然、大声で叫びたくなることは？

青春とは膨大な熱量です、勉強をやり、スポーツをやり、
なおかつ汲み尽くせぬ熱量です。今、この時に、何かを
やりたいのです。時には、とんでもないバカもやります。
しかし、それは若さの特権ではないのでしょうか。

我々の世代を軽小浮薄と呼ぶ人もいます。しかし、春
がおとずれば、自然界の生きとし生けるものは全身で
喜びを表現するではありませんか、我々も青春を謳歌し
ているのです。

旅芸人クラブの活動もまさにそれです。何でもやります。
どんなつまらない企画も全力で楽しみます。みなさん
にも楽しんでもらいたいです。

(文責 福田 雅)

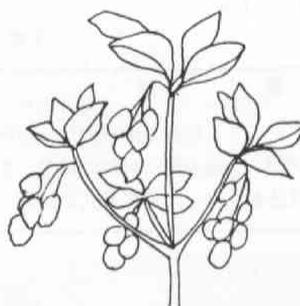
経 費	活 動
会費 必要なつど徴収	6月・10月ビデオ映画製作(2本)



学生証の査証及び交付について

学生証は3年間使用できますが、毎年4月に査証を受けなければ有効になりません。61年度は4月1日(火)より学生課学生係において学生証の査証及び交付を行います。昭和58年度入学者については新学生証の交付、昭和58年度入学者以外の学生は査証となるので、全員学生証を持参すること。

(学生課)



窓外



市原和夫

最近、『教育』ということ改めて考えなければならぬ機会を持った。「今頃何を！」と御叱りを受けるかもしれない。学生教育という難しい問題は偉い先生が考える事で、私のような者が口にする事ではなかったのである。さて、大学における教育とは一体何であろうか？まさか高校生相手ではないのだから、「煙草を喫うな、酒を飲むな、不純異性交遊をするな」と躰をすることではないだろう。私生活についてはもう十分責任を取れる年齢であるし、少なくとも旭川医大生は礼儀正しく、人に迷惑を掛けるような事はしていない。では、教育とは教科書通りに講義をし、学生にその内容をそっくり覚えさせ、試験をして点数が悪ければ「もっと勉強しなさい」と指導することであろうか。でも、これでは小、中、高校の教育と大差ない。確かに、医科大学である以上、国家試験に合格させて学生を医者に仕立て上げなければならない。しかし、監督官庁の御咎めを覚悟で言うと、入学した学生を全部卒業させる義務はないし、また入学の際に「あなたを医者にしてあげます」と約束している訳でもない。大学は義務教育ではなく、医学を志す人々の集まりであるので、叱咤激励して勉強させる必要はない。ところが中には非常に慈悲深い先生もいらっしゃる、勉強が嫌いで留年しそうな学生を「私が責任持って勉強させますので進級させてあげてください」と助けてくれる場合もある。余りにも過保護である。大学も、妙な所で学生の自主性云々しないで、学問の上での自主性も強調すべきで

あろう。私は薬理学の一部を講義しているが、その殆どは私の専門分野ではないし、正直言って余り興味を持っていない部分もある。従って当然の成り行きとして好い加減な講義になる。すると学生は、こんな杜撰な講義では駄目だと気づき、薬理学の分厚い参考書で自主的に、一所懸命に勉強する。こう考えると大学での授業というのは一から百まで全て詳しく教えるよりも、少し手を抜いた方が学生の為である。このような暴言を吐くと学長から大目玉を食いそうである。

私は大学が、小、中、高校と決定的に違うのは、教育機関であると同時に研究機関でもあるという事であると思う。勿論、小、中、高校にも立派な研究をしている先生が沢山いることは承知している。しかし、大学の先生は研究もしなければならぬのである。自分自身でコツコツと一所懸命に医学に貢献するような研究をし、学術雑誌や学会で発表して、その分野で活躍している姿を学生に見せるという事が大学におけるもう一つの、しかも大切な教育ではないだろうか。そうすると何も言わなくても、学生の研究に対する興味を喚起し「よし、僕も」と、これまた一所懸命に勉強する。旭川医大を卒業して大学に残っている人達は全てが教官ではないかもしれないが、基礎医学は勿論、臨床医学においても、医学に関する研究をする為に大学に籍を置いている筈である。研究の面白さ、奥深さを身をもって体験し、後輩に伝えていかなければならない。ところが大学院生の中には奨学金は貯金しておいて、研究ではなく Arbeit に精を出す人もいと聞く。何の為の奨学金かわからない。

ある大学の、もう停年退官なされた世界的に有名な薬理の教授は、学生に対する所謂、一般的な教育には余り熱心ではなかったのではないかと、失礼ながら、その風貌から私が勝手に想像している。しかし、彼の研究の偉大さに共感して彼のもとに集まって来た学生、研究生は夥しい数に上り、結果的に優秀な沢山の弟子を育てることになった。彼は立派な教育者であった訳である。

(薬理学講座 助教授)